

大井信夫¹: 花粉形態に関する参考文献 出版物とインターネット上の情報Nobuo Ooi¹: Pollen morphological references—publications and information on the Internet

花粉形態に関する文献目録は多くの人たちの努力によってまとめられている。なんとといっても、インドのボンディチェリ・フランス研究所のThanikaimoni教授を中心にまとめ続けられている“Bibliographic Index to the Pollen Morphology of Angiosperms (被子植物の花粉形態に関する文献目録)”があげられる。Thanikaimoni教授の没後も夫人により文献整理は続いており、1999年に最新の“Eighth Bibliographic Index to the Pollen Morphology of Angiosperms”が発行された。今後も4~6年ごとに発行される予定である。残念ながら、裸子植物は含まれておらず、シダ胞子に関する文献目録は一度発行されただけである。

Thanikaimoni, K. & van der Ham, R. W. J. M. 1999. Huitième Index Bibliographique sur la Morphologie des Pollens d'Angiospermes. Publications du Département d'Écologie Institut Français de Pondichery. ISSN 0971-3107. US\$ 28.00.
(Vol. 1, 1972; Vol. 2, 1973; Vol. 3, 1976; Vol. 4, 1980; Vol. 5, 1986; Vol. 6, 1990; Vol. 7, 1994)

そのほかの文献目録としては、以下のものがある。

Bibliography of Actinopalynology, 1671–1966. Review of Palaeobotany and Palynology Vol. 12 (1–3), 1971.
van Campo, M. & Millerand, C. 1981, 1982–1983, 1984–1985, 1986–1987. Bibliographie Palynologie. Supplement of Pollen et Spores.

いずれも花粉形態だけでなく、花粉分析関連の文献目録である。前者は1966年までの、後者は1981~1987年分の花粉学の文献集である。いずれも現在は途絶えている。

インターネット上にはまとまったものはないが、花粉学の研究室のWeb Siteを中心に簡単な論文リストが掲載されている場合がある。たとえば、アリゾナ大学 (http://www.geo.arizona.edu/palynology/pal_bib.html)には、花粉形態に関する主要な書籍と論文があげられている。

花粉アトラスに関しては、

Hooghiemstra, H. & van Geel, B. 1998. World list of Quaternary pollen and spore atlases. Review of Palaeobotany and Palynology 104: 157–182.

に世界各地のアトラスの目録がある。まだ情報収集が続けられており、今後も改訂される予定である。

科など大きな分類群ごとの花粉形態に関するモノグラフは、以下の2つがシリーズとして発刊されている。“World Pollen and Spore Flora”は現在18巻まで発行されており、“Northwestern European Flora”(Elsevier, Amsterdam)は1~7巻(古い巻はすでに入手困難)まで出版され、8巻が近日中に刊行される (<http://www.bio.uu.nl/~palaeo/Research/NEPF/nepf.htm>)。また、科ごとにまとめた論文や本、冊子などは数多く出版されている。そのほとんどは、最初にあげた花粉形態に関する文献目録から引き出すことができる。

インターネット上でもいくつか花粉形態写真を集めたアトラスやモノグラフが存在している。アトラス的なものに関しては、本号のデータベース委員会報告を参照してほしい。しかし、写真の質が悪く記載も充分でないことが多いなど不満な点が多い。そうした中で、PalDat (<http://paldat.botanik.univie.ac.at/>)は写真の質、記載ともに充実している。また、Geoff HopeによるAustralian National University Pollen Database (<http://pollen.anu.edu.au/pollensearch.phtml>)はIndo-Pacific Pollen Databaseの一環であるが、現生花粉標本の検索システムとして興味深い。

特定の分類群に焦点をあてたモノグラフはインターネット上では少ないが、Palynology of the genus *Centaurea* (<http://www.florin.ru/florin/db/centaur.htm>)は、分類群がヨーロッパでよく産出するキク科の*Centaurea*に絞られており、記載が豊富で写真や図もふんだんにあり、すばらしい。これは、その他の植物のデータベースも含まれるFLORIN Databases On-lineのひとつである。

花粉形態用語は、植生史研究第4巻第2号75 p.で紹介した“Glossary of Pollen and Spore Morphology”がよく整理されている。現在は2nd editionが配布されているが、WWW (<http://www.bio.uu.nl/~palaeo/glossary/>)でも公開されている。ブラウザ上で見ることができるhtml形式のもの、テキスト形式のものなどがダウンロードできるので、いちいちインターネットに接続しなくてもコンピュータ上で見ることが可能である。書籍では、Kremp (1965)もあるが、発行年も古く、現在は絶版で入手が難しい。

Kremp, G. O. W. 1965. Morphologic Encyclopedia of Palynology. University of Arizona Press, Tucson. 263 pp.

(¹ 〒572-0021 寝屋川市田井町21-30 ONP研究所)